

備風

BI

FU

2022・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL. 57

掲示板（事業活動）

岡山県中小企業団体青年中央会 事業承継セミナー

リモート開催

青年中央会のセミナーは昨今のコロナウイルス感染症対策のためにリモート開催で行われました。「令和3年度今日から始める事業承継対策セミナー」と題し、9月から月1回の全5回で、各月ごとにそれぞれ別講師の方を迎えました。岡山県内の青年経済人（若手経営者・後継者）を対象に事業承継について幅広いテーマで実施され、岡山県環整協青年部としては4回目と5回目を青年部事業とし、青年部員はパソコンにより受講しました。

○講師の名前と講義内容

- 1回目 事業承継・引継ぎセンター承継コーディネーター 金原光広講師「親族内承継のポイント」
- 2回目 事業承継・引継ぎセンター承継サブマネージャー 小林伸行講師「親族外（第三者）承継のポイント」
- 3回目 株式会社やまと元代表取締役小林久講師「こうして店は潰れた 地域土着スーパー「やまと」の教訓」
- 4回目 葉ppiness代表井上幸葉講師「事業承継が楽になるコツ」

5回目は、株式会社 IdealWorks 代表取締役井出美由樹講師「先を見据えた事業継続・整理・承継の仕方」講義内容は5講義とも違う視点からの内容で、失敗例、成功例、まだ結果が出ていない承継例など様々な具体例があり、非常に参考になり、各々が自社に照らし合わせ考えていく素晴らしい時間となりました。

今後、各社青年部員が事業承継に向けて準備・実施等を確認できるよい研修会でありました。

（甲田 光昭）

全国環境連中国地区協議会青年部 研修会

リモート開催

令和3年度の全国環境連中国地区協議会青年部研修会は、昨今のコロナウイルス感染症対策のためにリモート開催で行いました。

研修内容は、BCP（事業継続計画）についての研修を株式会社 UCD コンサルティングの内田康博様を講師に迎え、11月から月1回の全5回で、突然来る災害時に備え、BCPを作成してみよう！と各地区の青年部員がパソコンにて研修会に参加しました。

実際災害に見舞われた岡山県の豪雨災害でどうであったか？東日本大震災でのバキューム車の派遣などで実際に東北へ行った者の声などを他県と情報共有し、自社が受ける災害について考えるきっかけになった。

今後、高確率で来ると言われている南海トラフ巨大地震を想定して、青年部員らは初動はどうするか？従業員の連絡方法は？各県の協力体制はどうするか？などを話し合い、また、私たちが行っている業務の重要性に気づき責任が重大なものだと再認識した実りある研修会となりました。

今回の研修会では、インターネットを活用した多くの初めての試みを行ったが、その中でも学びの振り返りができるように研修期間中画面を動画に記録することで、途中参加でも聞きやすいように配慮をすることができました。

今後、各社がBCPを完成させ、災害に備えるよう強い会社づくりと中国地区協議会青年部の結束力を確認できるよい研修会でありました。

（田邊 拓人）

岡山県環境整備事業協同組合及び環整連政治連盟岡山県支部 合同新年会

令和4年1月28日 ANA クラウンプラザホテル岡山

令和3年度の合同新年会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加人数を各社1人、来賓のご招待はしないということで、組合員26名参加のもと、寺尾邦弘常務理事の司会進行により開催されました。開会にあたり乗藤慎吾理事長より、近年、頻繁に起こる自然災害へ備えることの必要性、さらに、その災害に対して強い浄化槽の役割を強くアピールすることが必要であること等のお話がありました。

次に、別府洋吾専務理事より、令和4年度の主要な行事予定の説明がありました。予定が正式に決まっていないものも多くあり、コロナの状況を見ながらになるようです。

続いて、渋江忠裕事務局長より、全国環境連及び岡山県浄化槽団体協議会の要望事項について説明がありました。全国環境連から環境省へは、一般廃棄物の処理責任は市町村、産業廃棄物の処理責任は排出事業者という従来の廃棄物処理法の枠組みを堅持する必要があること等が要望されました。

最後に、牧生夫副理事長より、1月28日は110年前「南極」に日の丸が立った日です。皆でこの「難局」を乗り越えよう！とユーモアを交えた力強い挨拶があり、コロナが収束することを祈りつつ閉会となりました。

(中島 政也)

令和4年 日本廃棄物団体連合会 新春講演会

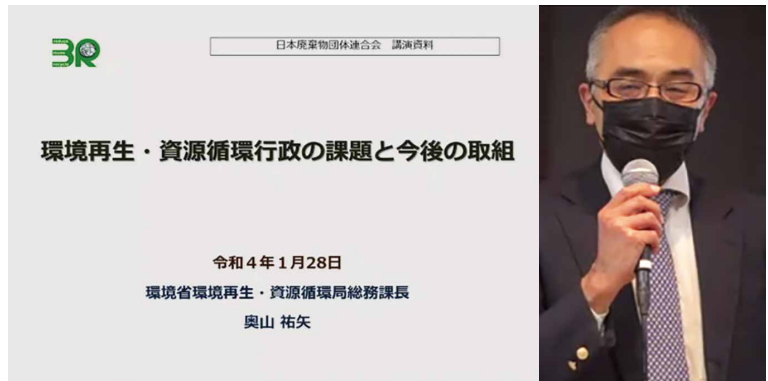
令和4年1月28日 日比谷国際コンファレンススクウェア

令和4年1月28日（金）、日比谷国際コンファレンススクウェアにて日本廃棄物団体連合会主催の新春講演会が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染拡大を受けて、多くの団体がリモートでの参加となりました。

開会に先立ち、日本廃棄物団体連合会の加藤幸男会長より開会の挨拶が行われ、

脱炭素社会における我々業界の重要性が高いことが述べられた。講演は環境省環境再生・資源循環局総務課長の奥山様から「環境再生・資源循環行政の課題と今後の取組について」とのテーマにおいて行われた。主な内容として「世の中の動向と環境政策」（現在の地球全体の課題として「生物多様性の損失、気候危機の顕在化、廃棄物の大量発生」が起きている）、「今後の環境政策の方向性」（脱炭素社会、循環経済、分散型社会）、「地域脱炭素ロードマップ」（2050年のカーボンニュートラル＝二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、温室効果ガスを実質的にゼロにするという目標）、「災害廃棄物対策の推進」、「浄化槽の普及促進」などについて講演が行われました。

(石原 慎祐)



行事予定

- 令和4年2月28日～3月12日 浄化槽管理士講習会（組合研修室）延期
- 3月16日 全国環境連第6回理事会（リモート会議）
- 3月22日 全国環境連中国地区協議会第6回理事会（未定）
- 3月29日 組合第6回常任会・理事会（組合研修室）
- 5月2日 令和3年度組合会計監査（組合事務所）
- 5月9日 組合第1回常任会・理事会（組合研修室）
- 5月 日 組合青年部第47回通常総会（組合研修室）
- 5月18日 全国環境連第1回理事会（未定）
- 5月25日 第65回組合通常総会（岡山市）
- 6月1日 全国環境連中国地区協議会第1回理事会（未定）
- 6月17日 全国環境連通常総会（未定）
- 6月下旬 第58回全国環境連中国地区協議会総会（未定）
- 7月27日 全国環境連第2回理事会（未定）
- 8月2日 全国環境連中国地区協議会第3回理事会（未定）
- 8月9日 組合第2回常任会・理事会（組合研修室）

シリーズ第54回
水とくらし

寺尾 弘也

水とは人が生きていくためには必要不可欠な存在であるが、時として水は洪水や土砂災害をもたらし、人々の暮らしや命までも奪ってしまうことがある。岡山市も2018年に「西日本豪雨」を経験し、水にまつわる災害を身近に感じた県民である。その水を人の手によって可能な限りコントロールしようとするを「治水」という。人々は堤防やダムを作り、流路を付け替えるなどの様々な工夫を試みてきた歴史がある。

しかし、人為的な治水事業は思わぬ形で災害の助長をしてしまう反面も存在する。岡山においても治水事業は江戸時代から大規模なものが行われてきた。治水で人々の生活を守ろうとしたが、流路が不自然な形となり、水の流れを妨げる形となったり、山林伐採による川への土砂流入により川底が浅くなり、甚大被害を受ける形となった。この後も、治水事業はたびたび災害を経て改善を重ねてきた歴史があるが、現代においても予期せぬ雨量等により、堤防の決壊を受け甚大な被害を発生させ対策を余儀なくされている。このように、水とは人々の生活に必要な不可欠な存在でありながら、災害をもたらす存在でもあり、人の暮らしのなかで、ともに生きていくためにも一定の距離を置きながらも上手に付き合っていく必要のある存在でもある。これからの未来においても、人と水との関係は続いていくので組合として水環境の整備及び管理の向上の一躍を担っていきたいです。

活 動 報 告

令和3年9月15日 全国環境連第3回理事会（リモート会議）	12月7日 組合第4回常任会・理事会（組合研修室）
9月22日 組合第3回常任会・理事会（組合研修室）	12月13日 事業部西日本高速道路(株)中国支社（広島市）
10月1日 第34回全国浄化槽大会（東京都）→中止	12月22日 全国環境連年末あいさつ
10月4日～16日 浄化槽管理士講習会（組合研修室）→延期	令和4年1月4日 新年あいさつ（岡山県知事）
10月19日～20日 第34回全国浄化槽技術研究集会(松山市)→中止	1月6日 新年あいさつ（岡山市長）
10月29日 全国環境連第18回全国大会(岡山市)→中止	1月7日 新年あいさつ（倉敷市長）
11月1日 児島湖流域清掃大作戦	1月18日 全国環境連第5回理事会・新春懇談会→中止
11月16日 自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出	1月26日 全国環境連中国地区協議会第5回理事会（リモート会議）
11月24日 全国環境連第4回理事会（リモート会議）	1月27日 浄化槽管理士に対する研修会（岡山市）→延期
11月30日 全国環境連中国地区協議会第4回理事会（リモート会議）	1月28日 組合新年会・第5回常任会・理事会（岡山市）

編集後記

新型コロナウイルス感染者数も収まる様子がありません。そのために会議や研修会、講演会等がリモートで開催されることが多くなりました。さて、我々業界も1月27日に開催予定でした浄化槽管理士に対する研修会や2月28日からの浄化槽管理士講習会も延期となりました。いつ開催できるか未定ですが、もし可能であれば、リモートによる開催が出来ないか検討していただきたいと思えます。最後になりますが、第3回目のワクチン接種を受けた人も増えてきていますが、今後もコロナ対策をしっかりと行い日々の業務に携わっていきたく思います。 別府洋吾

BIFU

Vol.57

発行日 令和4年3月9日
 発行 岡山県環境整備事業協同組合
 編集 機関紙担当理事 別府 洋吾
 住所 岡山市南区山田291-2
 tel/fax 086-282-6455/086-282-6685
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp
 印刷 (有)エーピープランニング